

# 直轄新潟海岸を延伸（金衛町工区）

## ～安全で快適な海岸の保全と創出～

新潟海岸（新潟県新潟市<sup>にいがたし</sup>）

### 1. 概要

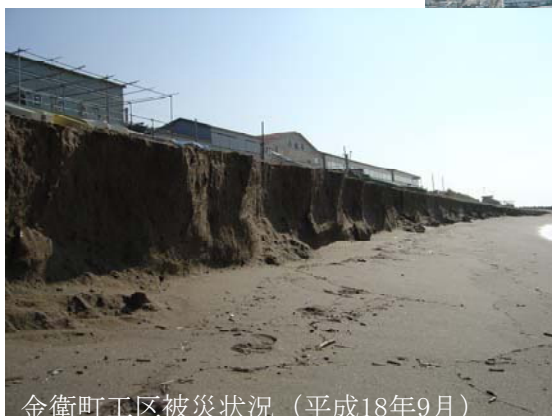
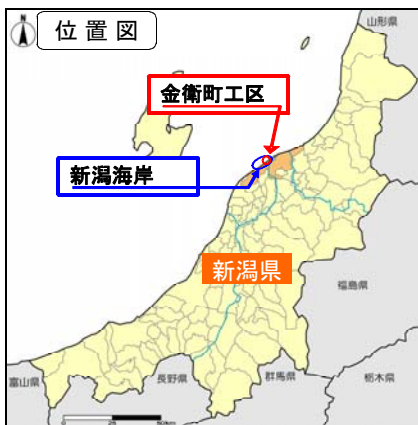
新潟海岸金衛町工区（延長2.9km）は、海岸侵食の進行が著しく、海底地形の侵食傾向が沖合にも進行し、施設被害が頻発しています。海岸侵食による新潟市街地への影響が甚大となる恐れがあることから、広域にわたる侵食防止と砂浜安定化を図るため、平成19年度から直轄海岸保全施設整備事業により抜本的な保全対策を実施します。

### 2. 事業の経緯

- 昭和40年度 新潟県により侵食対策事業に着手
- 平成18年5月 「広域新潟海岸保全計画検討委員会」発足
- 平成19年度 直轄新潟海岸の延伸区間として直轄事業着手

### 3. 平成19年度の実施内容

平成19年度より直轄による海岸保全施設整備に着手し、ヘッドランドの整備と養浜を実施することにより、背後の安全度の向上を図る。



金衛町工区の被災状況（平成17年11月）

ふせだにがわ

# 布施谷川鉄道橋・道路橋緊急対策事業の完成

～浸水被害が頻発する地点の重点的な改修～

信濃川水系布施谷川（新潟県三条市）

（補助事業）

## 1. 事業の概要

布施谷川のJR信越本線布施橋梁地点は、下流側に比べて河道断面が小さいため、平成9年8月豪雨を始め、平成11年、平成12年、平成14年と浸水被害が頻発したことから、河積の拡大が急務となっていました。

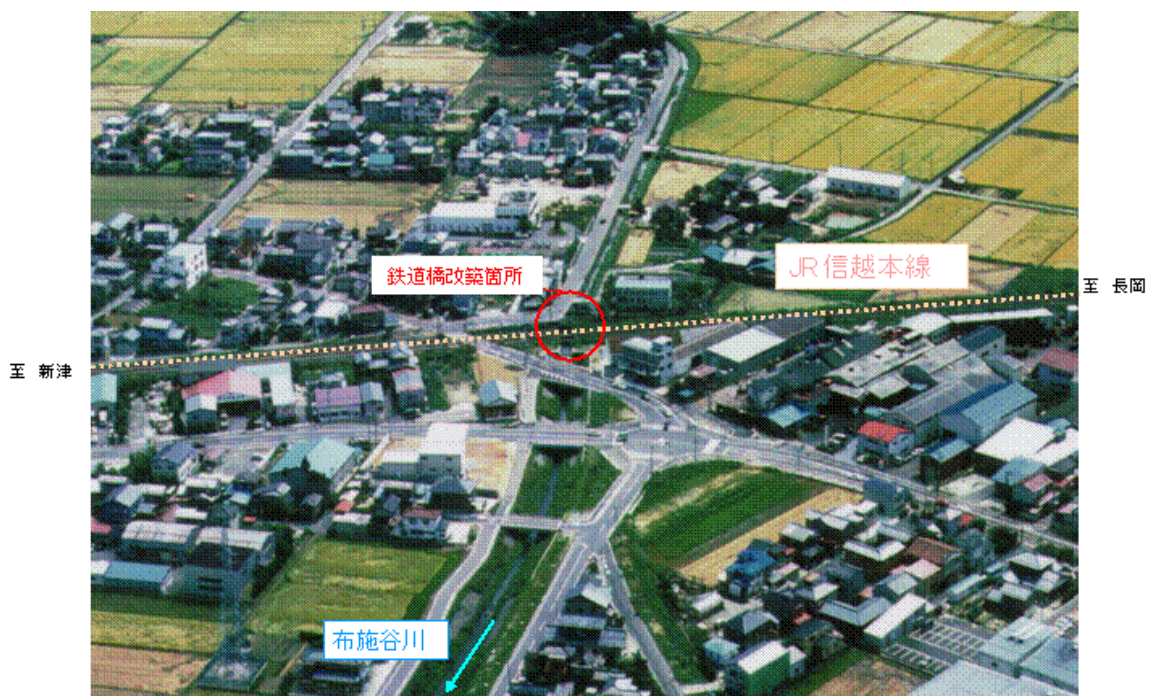
このため、洪水を安全に流すことを目的に、平成15年度より鉄道橋・道路橋緊急対策事業に着手し、河道を拡幅するためネックとなっているJR信越本線布施橋梁の架け替えを実施しています。

## 2. 事業の経緯

河道断面が不足するJR信越本線布施橋梁地点について、平成15年度より橋梁架け替えを実施しており、平成18年度までに左右岸の橋台が完成しています。

## 3. 平成19年度事業の内容

平成19年度は、橋梁架け替え（上部工・軌道工）及び掘削・護岸工を実施し、事業を完了します。



# 近年に豪雨災害を受けた地域の重点対策

～信濃川水系麻生田川<sup>あそうだ</sup>砂防激甚災害対策特別緊急事業の完成～

新潟県<sup>ながおか</sup>長岡市

(補助事業)

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

信濃川水系麻生田川は新潟県長岡市に位置し、土石流が起きると人家27戸、県道西片貝浦瀬線が被災する恐れのある溪流です。平成16年7月13日の豪雨時も土石流が発生し、下流の集落において床上、床下浸水の被害が発生しました。その後も不安定な土砂が河道内に大量に堆積しており、次の降雨により土石流が発生する危険性が高いことから早期に対策を実施する必要性がありました。このため平成17年度に激甚災害対策特別緊急事業に着手し、土砂災害から人家などを守るためにえん堤工などを施工しています。

平成19年度はその最終年にあたり完成に向け事業を促進します。

### 2) 事業計画

事業期間：平成17年度～平成19年度（予定）

主な工種：えん堤工 1基  
護岸工 110m

## 位置図



## 2. 事業の経緯

平成17年度 激甚災害対策特別緊急事業に着手

## 3. 平成19年度の要求内容

平成19年度は、えん堤工1基(10m)を完成高さまで実施し、下流の集落を土砂災害から守ります。



# 刈谷田川・五十嵐川・信濃川下流における 上下流一貫した緊急治水対策の推進

～H16.7 新潟・福島豪雨への対応～

にいがた か も さんじょう なおか なかのしま  
新潟県、新潟市、加茂市、三条市、長岡市（旧中之島町）他

## 1. 事業の概要

平成16年7月12日～13日の梅雨前線豪雨（新潟・福島豪雨）により、信濃川下流の支川刈谷田川（県管理河川）、五十嵐川（県管理河川）では全半壊を含む床上床下浸水約1万棟、浸水面積約2,500haにおよぶ甚大な被害を受けました。

この災害に対し、国、県が連携して上下流一貫した緊急治水対策として、平成16年度より直接被害のあった刈谷田川、五十嵐川においては「河川災害復旧助成事業（県）」が、また、同助成事業により流量増となる下流側の刈谷田川下流部（県）及び信濃川下流（国）においては、その受け皿確保として「河川災害復旧等関連緊急事業」を、それぞれ実施しています。

この事業の実施により、今回被害の大きかった三条市、見附市、長岡市（旧中之島町）はもとより新潟市をはじめとする信濃川下流域全体の治水安全度を向上させます。

## 2. 事業の経緯

### 【直轄】

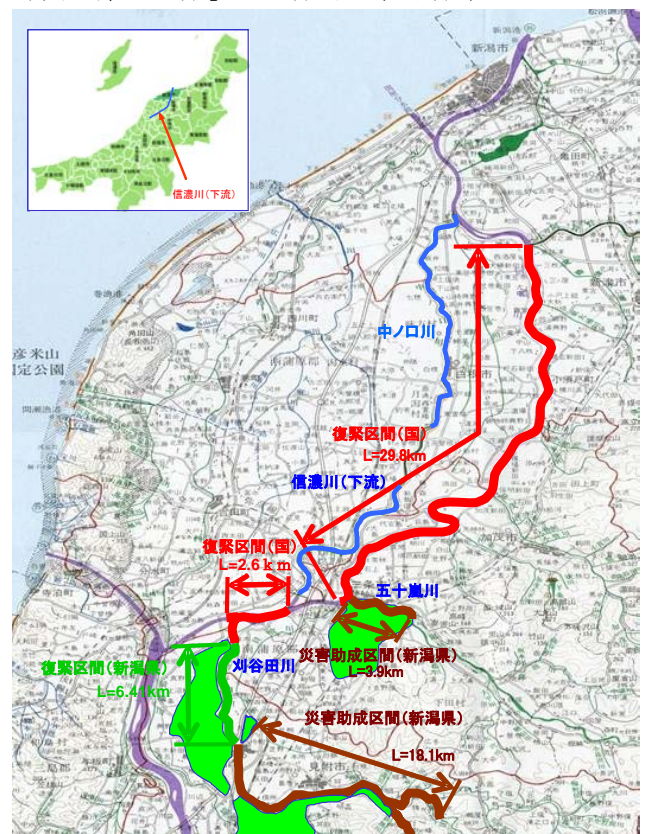
- 平成15年度 信濃川下流の「緊急対策特定区間」として、約16kmの重点的堤防整備に着手
- 平成16年度 新潟・福島豪雨出水により、上記の緊急対策特定区間を含む約34kmの区間を、信濃川下流「河川災害復旧等関連緊急事業」として事業採択、事業着手

### 【補助】

- 平成16年度 新潟・福島豪雨出水により刈谷田川、五十嵐川で「災害復旧助成事業」及び刈谷田川で「河川災害復旧等関連緊急事業」が事業採択、事業着手

## 3. 平成19年度事業の実施内容

平成20年度の完成を目指し、平成19年度は築堤、河道掘削等を推進します。



おおこうづかどうぜき

## 大河津可動堰改築の推進

～著しく老朽化した施設の改築及び流下能力の向上～

信濃川水系大河津分水路（新潟県燕市<旧分水町>）

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

大河津可動堰は、信濃川と大河津分水路の分派点に位置し、昭和6年に完成して以来、洗堰とともに大河津分水の根幹的施設(分流制御施設)として、治水、利水機能等に大きな役割を果たしてきています。しかし、設置後70年以上経過し、施設本体の老朽化が顕著となるとともに、敷高等の影響により流下能力不足が生じており、その抜本的対策が急務となったことから平成15年度より改築事業に着手しました。

新可動堰は、現固定堰の下流約300m地点に建設し、流下能力の向上を図ります。改築にあたっては、景観に配慮した堰構造として日本最大級のラジアルゲートを採用するとともに、新技術の活用、コスト縮減、環境にも配慮し、事業を推進していきます。

#### 2) 全体計画

堰本体改築 1式、河道掘削 約1,800千m<sup>3</sup> 等

### 2. 事業の経緯

平成15年度に「特定構造物改築事業」により改築事業に着手。

平成16年度末までに、河道掘削約110千m<sup>3</sup>を実施。

平成17年度に堰本体工の工事に着手。

### 3. 平成19年度事業の実施内容

平成19年度は本体堰柱を推進するとともに、ゲート製作及び堰に架かる管理橋の上部工に着手します。



# 信濃川水系芋川における直轄砂防事業の推進

～ 芋川流域の地域復興支援 ～

ながおか うおぬま おぢや かわぐち  
新潟県長岡市、魚沼市、小千谷市、川口町

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

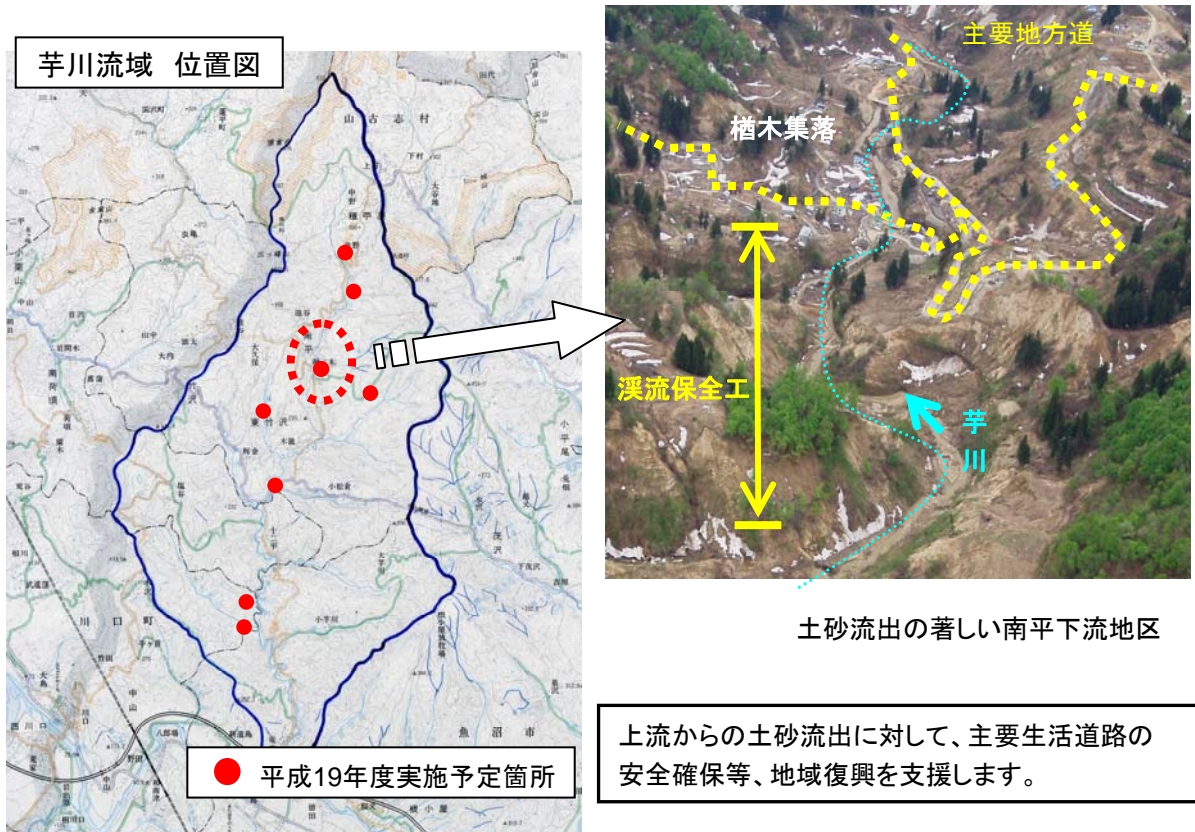
信濃川水系魚野川右支川の芋川は、平成16年10月に発生した新潟県中越地震により、流域内で多数の山腹崩壊や地すべりが発生しました。それに伴い、多くの河道閉塞が発生し、特に被害の大きい11地区については直轄災害関連緊急事業により緊急的に整備を進め、平成18年度中に完成しました。平成19年以降は集落再生地域の保全や、生活道路となる主要地方道等を保全する砂防事業を実施し、安全安心な地域の復興を支援します。

## 2. 事業の経緯

- 平成16年10月23日 「新潟県中越地震」により大規模な河道閉塞が発生
- 平成16年11月5日 「寺野地区」「東竹沢地区」直轄砂防災害関連緊急事業で実施決定
- 平成16年12月12日 「寺野地区」仮排水路完成
- 平成17年2月20日 「東竹沢地区」仮排水路完成
- 平成18年度 直轄砂防災害関連緊急事業対応箇所完成
- 平成19年度以降 芋川流域の帰村予定（集落再生地域）箇所の支援

## 3. 平成19年度事業の内容

南平上流地区や南平下流地区、下塩谷川地区などの新規着手箇所6箇所と継続整備2箇所の合計8箇所において砂防事業を実施し、地域復興の支援となる砂防事業を行います。



# 信濃川水系芋川流域における 直轄地すべり対策事業の整備促進

～ 芋川地区地すべり対策事業 ～

## 新潟県長岡市、魚沼市、小千谷市、川口町

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

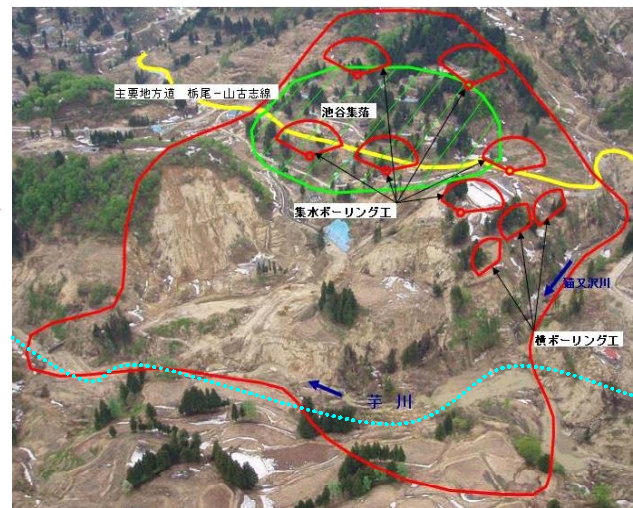
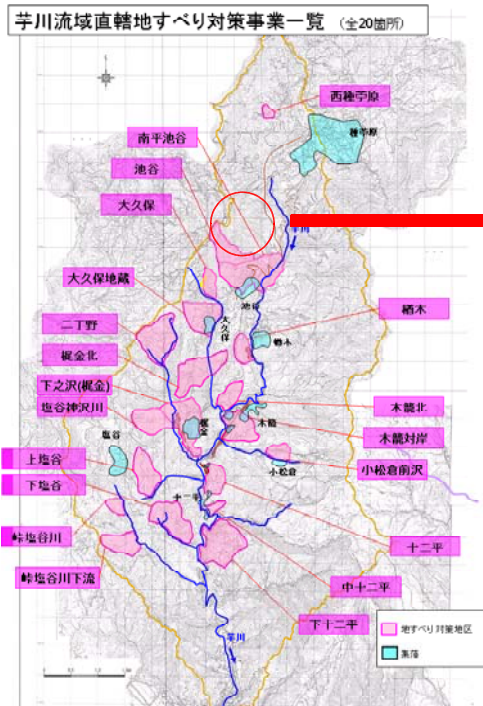
新潟県中越地震により芋川流域においては、大規模な河道閉塞を含む約1,800箇所を超える斜面崩壊が発生し、甚大な被害が発生しました。また、その後の豪雪もあり、融雪出水等によって流域の荒廃が進みました。これら山腹斜面の土砂移動を防止し、芋川流域における集中的かつ迅速な対策を講じるため、特に荒廃の著しい19地区について直轄地すべり対策事業を実施し、地域の復興を支援します。

### 2. 事業の経緯

- 平成16年10月23日 「新潟県中越地震」により地すべりが多数発生
- 平成17年豪雪による融雪時に崩壊地が拡大
- 平成18年度より直轄地すべり対策事業として新規着手

### 3. 平成19年度事業の内容

集落再生計画があり、生活道路などの整備を予定している南平池谷地区などにおいて、直轄地すべり対策事業として、集水井工、横ボーリング工等の地すべり対策を実施します。



#### 【南平池谷地区地すべり対策】

- ・池谷集落の保全
- ・主要地方道 栃尾-山古志線の保全

【直轄地すべり対策事業実施 19 箇所】

- 広域的連携交流・活力ある地域づくり
- 安全・安心な地域づくり
- 美しさと自然豊かな文化の香りがする地域づくり

くりのき  
**栗ノ木道路の新規着手**  
 ～調査・路線測量に着手～  
にいがた にいがた  
**新潟県新潟市**

**1. 事業の概要**

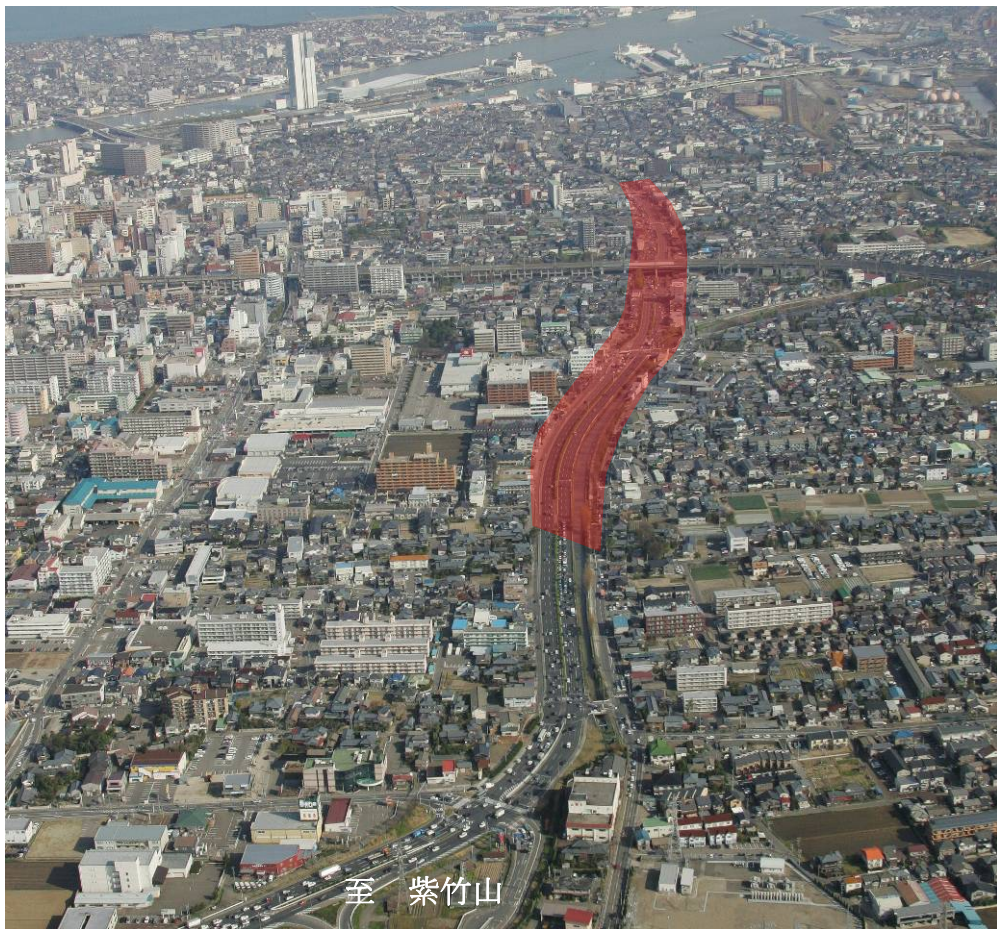
栗ノ木道路は、一般国道7号の新潟都心地区の慢性的な交通渋滞の緩和及び事故多発の改善を目的とし、主要地方道新潟黒埼インター匝口線との交差点部の立体化を図る延長約1.4kmの事業です。

**2. 事業の経緯**

平成19年度より事業着手します。

**3. 平成19年度事業の内容**

平成19年度は、調査・路線測量に着手する予定です。当該区間の整備により、慢性的な交通渋滞および事故多発箇所の問題を早期に緩和・解消するとともに、高速自動車道と新潟市中心部及び特定重要港湾新潟港を結ぶ総合交通ネットワークを形成し、生活・産業・観光等において沿線地域並びに新潟市全体の活性化に大きく寄与します。





● 広域的連携交流・活力ある地域づくり

● 安全・安心な地域づくり

# 一般国道405号 しみずがわら 清水川原拡幅の新規着手

なかうおぬま つなんまち あきなり しみずがわら  
新潟県中魚沼郡津南町大字秋成字清水川原

(補助事業)

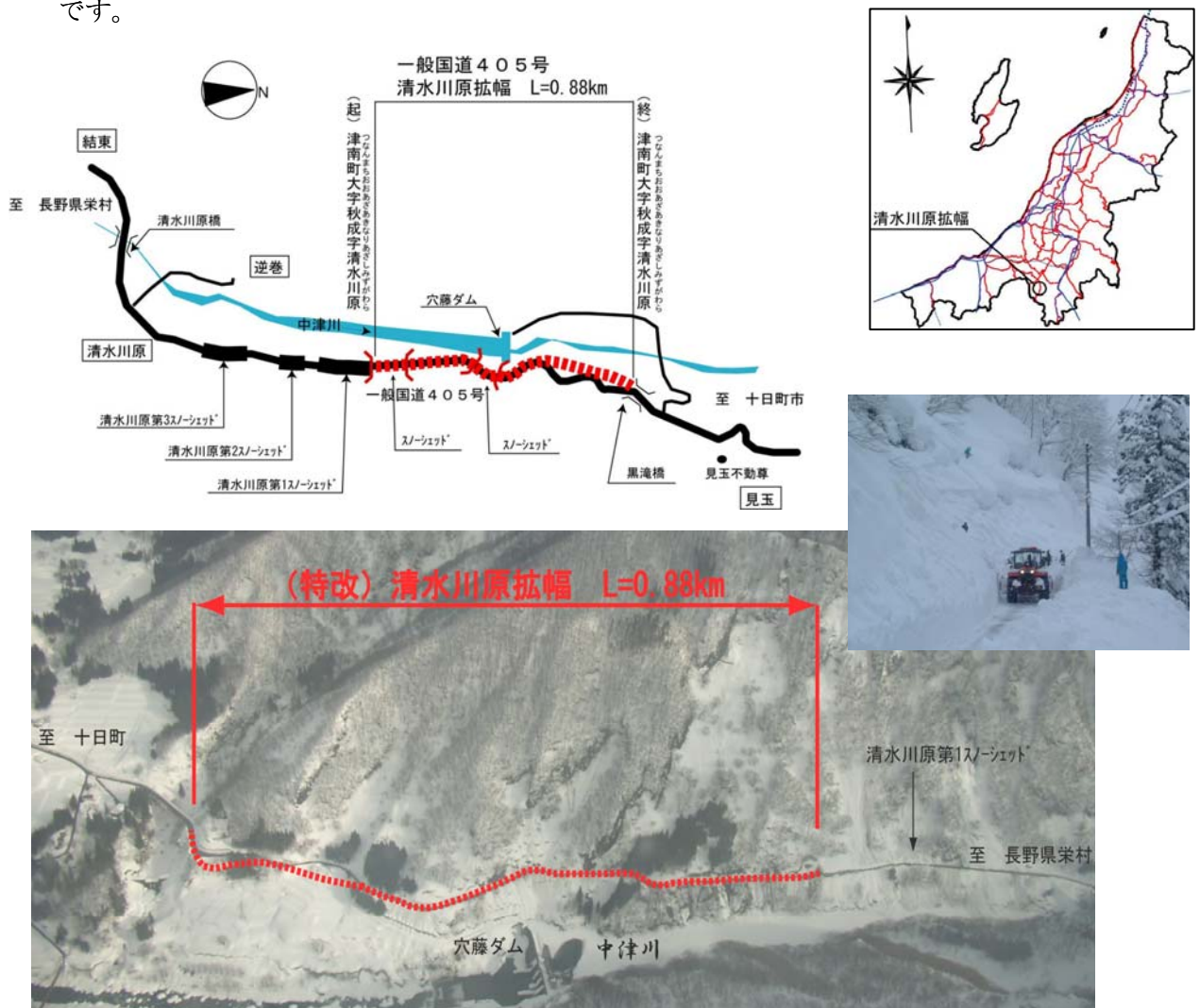
## 1. 事業の概要

一般国道405号は、群馬県吾妻郡六合村を起点とし、新潟県上越市に至る幹線道路です。

清水川原拡幅は、幅員狭小及び雪崩危険箇所を解消し、安全性・信頼性の高い道路空間の確保を目的とした中魚沼郡津南町大字秋成字清水川原地内の延長0.9kmの2車線道路です。

## 2. 平成19年度事業の概要

平成19年度に新規事業化し、清水川原地区の用地補償及び改良工事に着手する予定です。



「平成18年豪雪」時の状況

- 広域的連携交流・活力ある地域づくり
- 安全・安心な地域づくり

# 一般国道291号 竹沢拡幅の完成供用

新潟県長岡市山古志竹沢

(補助事業)

## 1. 事業の概要

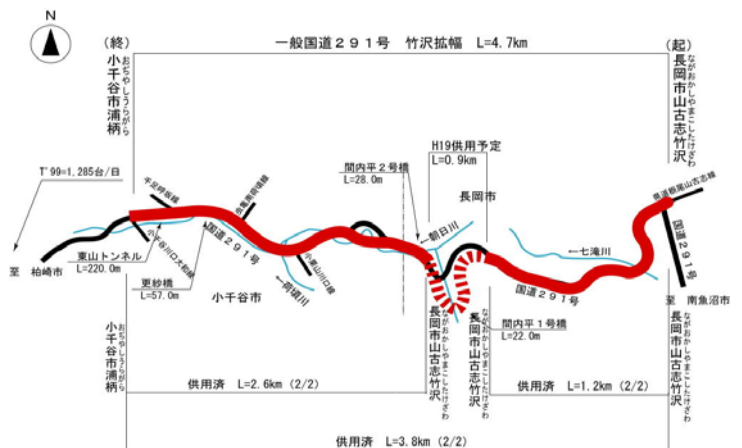
一般国道291号は、群馬県前橋市を起点とし、新潟県柏崎市に至る幹線道路です。竹沢拡幅は、幅員狭小、線形不良の隘路区間、地滑り・雪崩による特殊規制区間を解消し、安全性・信頼性の高い道路空間の確保を目的とした長岡市山古志竹沢から小千谷市浦柄に至る延長4.7kmの2車線道路です。

## 2. 事業の経緯

昭和58年度に事業着手し、平成18年度までに長岡市山古志竹沢地区の約1.2kmと、小千谷市浦柄地区から長岡市山古志竹沢地区までの約2.6kmの合計約3.8kmを部分供用しています。

## 3. 平成19年度事業の概要

平成19年度は長岡市山古志竹沢地区の改良・舗装工事を促進し、全線完成供用する予定です。



事業着手前の山古志竹沢地区



事業中の山古志竹沢地区

- 広域的連携交流・活力ある地域づくり
- 安全・安心な地域づくり

にほんかいえんがんとうほく  
**日本海沿岸東北自動車道（荒川IC～朝日IC）**  
あらかわ あさひ  
**の整備推進**  
**～全区間において改良・トンネル・橋梁工事を推進～**  
にいがた いわふね あらかわまち あさひむら  
**新潟県岩船郡荒川町～朝日村**

**1. 事業の概要**

日本海沿岸東北自動車道は、新潟空港ICを起点とし、さかた酒田市、あきた秋田市などを経て、あおもり青森ICに至る延長約320kmの高規格幹線道路です。

**2. 事業の経緯**

平成18年2月7日に開催された第2回国土開発幹線自動車道建設会議において、荒川ICから朝日IC間の20.4kmについて、直轄による整備が位置づけられ、平成18年2月28日の整備計画の変更により、新直轄方式で整備しています。

**3. 平成19年度事業の内容**

平成19年度は、かみはやしむら神林村内のトンネル（L=約260m）及びかみはやし神林高架橋（L=約1,500m）の工事に着手、全区間において工事を促進し、早期完成にむけて事業を推進します。



(荒川橋から村上IC（仮称）を望む)

- 広域的連携交流・活力ある地域づくり
- 美しさと自然豊かな文化の香りがする地域づくり

# 交通渋滞の早期緩和に向けて

いといがわひがし  
～糸魚川東バイパスの工事推進～

いといがわ  
新潟県糸魚川市

## 1. 事業の概要

糸魚川東バイパスは、一般国道8号の糸魚川市内の交通混雑の解消と沿道環境改善を目的とした、新潟県糸魚川市間脇から同市押上に至る延長約6.9kmの道路です。

## 2. 事業の経緯

平成元年度に事業着手し、平成4年度に用地買収、平成10年度に工事着手し、用地買収・工事を推進しているところです。

## 3. 平成19年度事業内容

平成19年度は、埋蔵文化財調査及び梶屋敷～大和川地区の改良工事を推進するほか、前川橋の上部工事及び田伏トンネル（仮称）L=189mについて着手する予定です。

当該区間の供用により、現在、通勤時に1kmを超える渋滞が発生している早川西詰交差点の交通渋滞が緩和される見込みです。



# 早期雨量規制緩和に向けて ～子不知地区法面防災対策完了～ 新潟県糸魚川市

## 1. 事業の概要

親不知防災は、一般国道8号の糸魚川市内における事前通行規制区間（連続雨量120、180mm）の解消を目的とした、新潟県糸魚川市青海から同市玉ノ木に至る延長14.3kmの防災事業です。

## 2. 事業の経緯

昭和43年度に事業着手し、これまでに洞門約3.7km、スノーシェットの補強約1.1kmを完成するとともに、「トンネル坑口緊急点検」及び「岩盤斜面等の緊急調査」の結果に基づき、岩盤斜面对策及び法面对策等の防災対策工事を推進してきたところです。

## 3. 平成19年度事業の内容

子不知地区（新潟側 連続雨量120mm規制区間）の早期規制基準緩和に向けて、法面防災対策工事を推進し完了する予定です。これにより、道路交通の安全性、信頼性が向上します。



位置図



子不知地区（富山方面から上越方向を望む）

- 広域的連携交流・活力ある地域づくり
- 美しさと自然豊かな文化の香りがする地域づくり

まつはまばしじょうりゅうきょう  
**松浜橋上流橋の整備推進**  
 ～橋梁下部工の推進～  
にいがた にいがた  
**新潟県新潟市**

### 1. 事業の概要

松浜橋上流橋は、国道113号の阿賀野川断面での交通容量の不足による慢性的な交通渋滞の緩和を目的とした、新潟県新潟市津島屋から同市名目所に至る延長約3.1kmの事業です。

### 2. 事業の経緯

平成13年度に直轄権限代行として事業着手し、平成15年度に用地着手しています。

### 3. 平成19年度事業の内容

平成19年度は、松浜橋上流橋（仮称）（L=937m）の下部工事を推進するとともに、上部工事に着手する予定です。

当該路線の整備により、慢性的な交通渋滞が緩和され、年間約52万人時間の渋滞損失時間の削減が期待されます。



- 広域的連携交流・活力ある地域づくり
- 美しさと自然豊かな文化の香りがする地域づくり

# 一般国道404号 長岡東西道路の整備推進

## ～信濃川橋梁下部に着手～

にいがた ながおか  
**新潟県長岡市**

### 1. 事業の概要

長岡東西道路は、地域高規格道路「長岡東西道路」の一部を構成し、中越地震からの復興支援、市町村合併により誕生した新長岡市の連携強化を図るとともに、信濃川で分断されている長岡市街地の交通渋滞の緩和を目的とする長岡市要町から同市西津町に至る延長約3kmの事業です。

### 2. 事業の経緯

平成9年度に整備区間として指定され、平成10年度より新潟県が事業に着手しています。そのうち、信濃川を渡河する橋梁区間約1.3kmについて、平成18年度より直轄権限代行区間として事業に着手し、橋梁設計等を行っています。

### 3. 平成19年度事業の内容

平成19年度は、信濃川橋梁の下部工に着手します。長岡東西道路が開通することにより、信濃川を渡河する橋梁部で渋滞が緩和され、渋滞損失が年間約23万人時間減少すると見込まれます。また、CO2の排出量が年間約4,140t削減すると見込まれます。(ビッグワン約34個分のブナ林が1年間で吸収するCO2の量に相当)



- 広域的連携交流・活力ある地域づくり
- 安全・安心な地域づくり
- 美しさと自然豊かな文化の香りがする地域づくり

# 一般国道460号 巻南バイパスの整備促進

新潟県新潟市河井～五ヶ浜

(補助事業)

## 1. 事業の概要

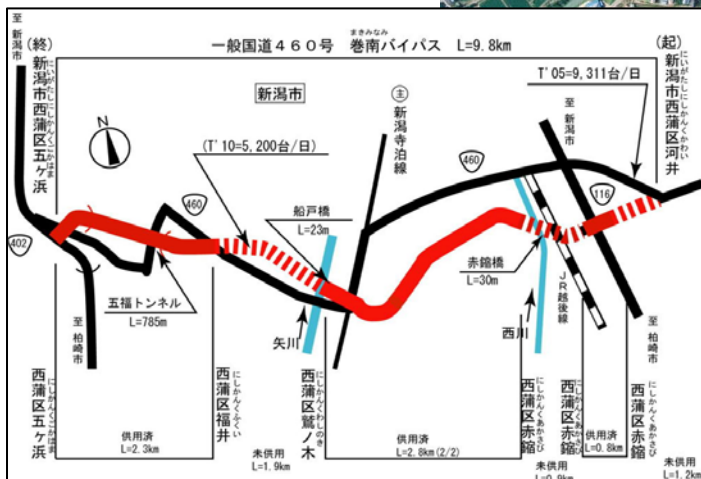
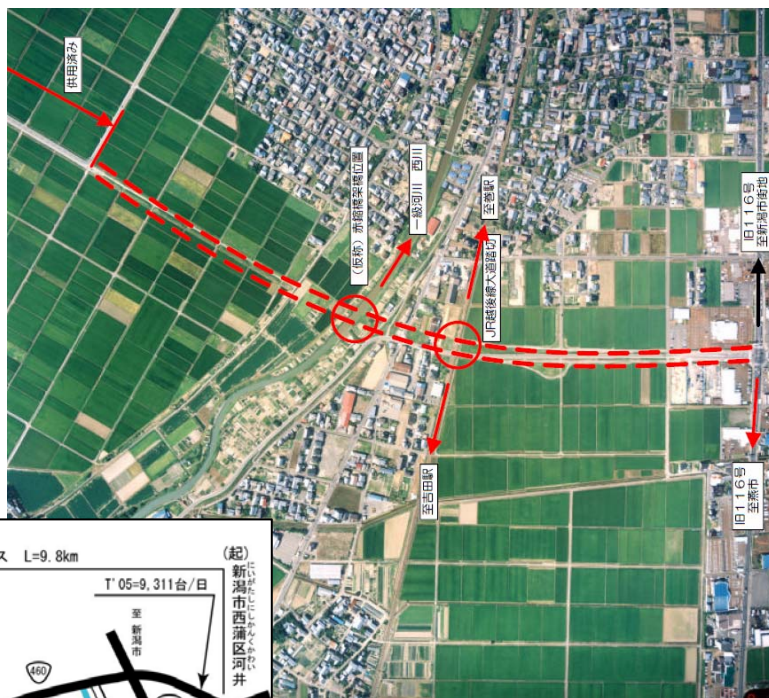
一般国道460号は、新潟県新発田市を起点とし、新潟県柏崎市に至る幹線道路です。巻南バイパスは、新潟市(旧巻町)市街地の幅員狭小、線形不良の隘路区間の解消により、県内渋滞損失時間上位2割に位置する著しい混雑を緩和し、道路交通の円滑化を目的とした延長9.8kmの2車線道路です。

## 2. 事業の経緯

昭和49年度に事業着手し、平成18年度までに新潟市福井から五ヶ浜までの約2.3km、赤縮地区の0.8km及び鷲ノ木地区の約2.8kmの合計約5.9kmを部分供用しています。

## 3. 平成19年度事業の概要

平成19年度は、赤縮地区の用地買収及び改良・橋梁工事を促進する予定です。





いわふねこう  
**岩船港線の整備促進**  
 にほんかいえんがんとうほくじどうしゃどうむらかみ  
**～日本海沿岸東北自動車道村上 I C アクセス道路の整備促進～**  
 にいがたけんむらかみしさんきよまち かみはやしむらかみすげち  
**新潟県村上市山居町～神林村上助渚**

(補助事業)

1. 事業の概要

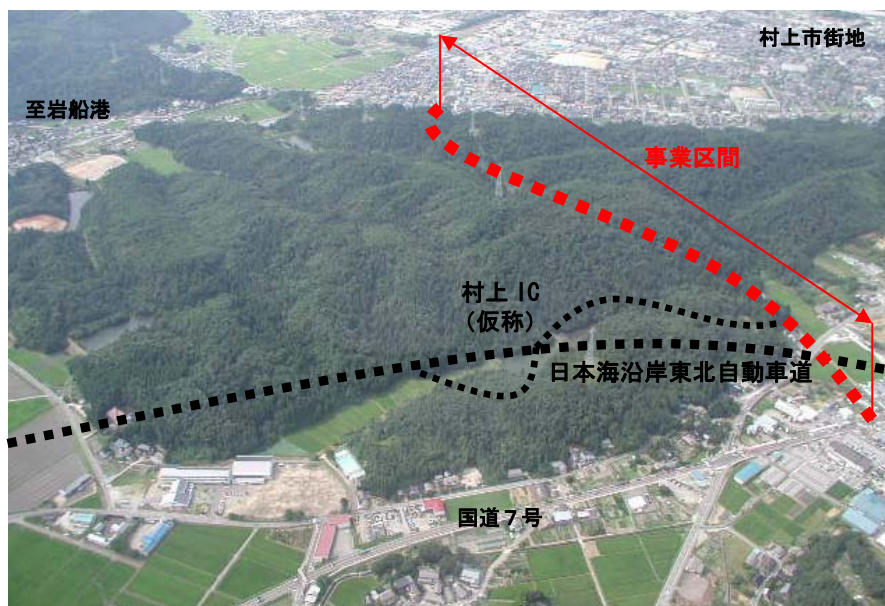
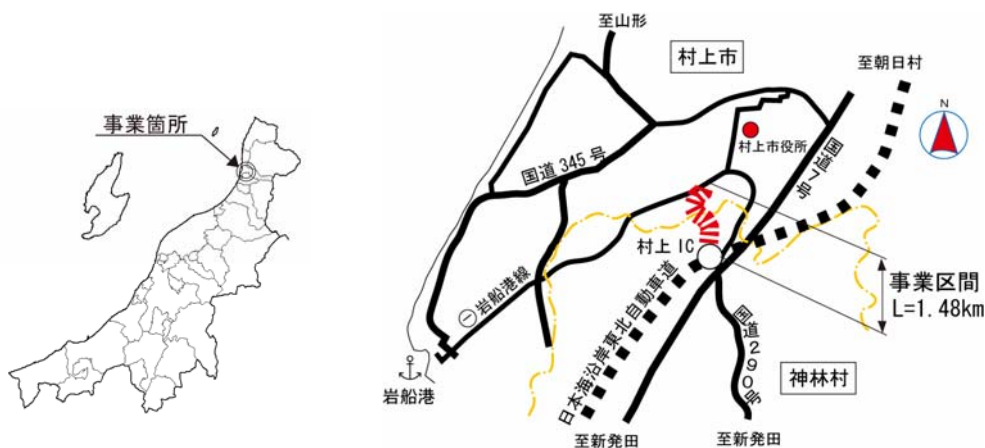
県道岩船港線は、一般国道 7 号から村上市街地を經由し岩船港に至る一般県道です。  
 本事業は、現在事業中の日本海沿岸東北自動車道村上 I C (仮称) と一般国道 7 号及び村上市街地とのアクセス強化を目的とした、延長約 1.5 km の事業です。

2. 事業の経緯

平成 12 年度から国庫補助事業による整備に着手し、用地買収及び改良工事を促進しているところです。

3. 平成 19 年度事業の内容

平成 19 年度は、引き続き用地買収及び改良工事を促進する予定です。



# あんしん歩行エリアの整備

にいがたしふるまちはいりふね  
新潟市古町入舟地区  
にいがたし  
新潟市

(補助事業)

## 1. 事業の概要

にいがたしふるまちはいりふね  
新潟市古町入舟地区は、商業・業務施設、公共施設が集積する中心市街地ですが、生活道路に通過交通が流入し、自転車や歩行者の安全確保が急務となっています。

そのため、当該地区を「あんしん歩行エリア」に位置づけ、歩行者の安全対策を面的・総合的に実施し、安全で快適な歩行空間を確保するものです。

※あんしん歩行エリア：平成 15 年度以降事故対策を集中的に実施するため、警察庁と国土交通省が指定した、住居系地区又は商業系地区。

## 2. 事業の経緯

平成 16 年度から国庫補助事業による整備に着手し、歩道整備・無電柱化を促進しているところです。

## 3. 平成 19 年度事業の内容

平成 19 年度は、引き続き無電柱化・コミュニティ道路整備を促進する予定です。



# 一般国道49号 岩津橋 震災対策事業

新潟県東蒲原郡阿賀町

## 1. 概要

新潟県東蒲原郡阿賀町岩谷に位置する一般国道49号岩津橋は、交通量約1万2千台/日であり、震災時における経済活動に重大な影響を及ぼす恐れがあることから早急な対策が必要とされています。

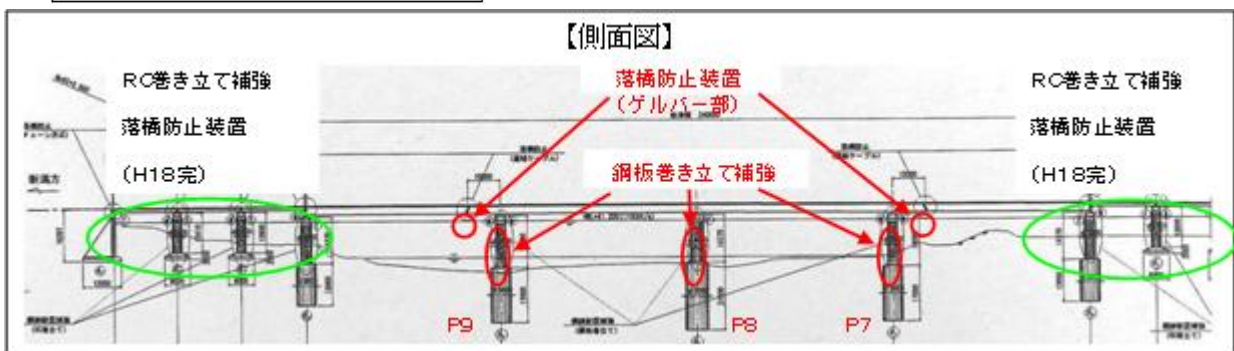
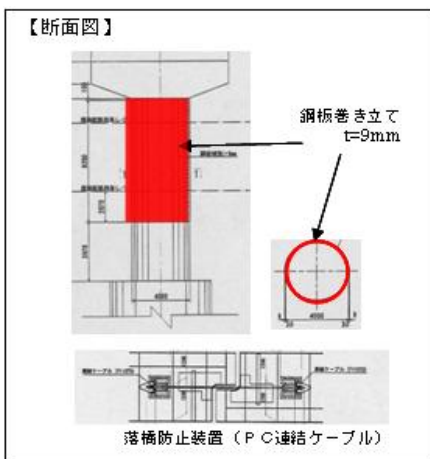
本事業は、橋脚補強及び落橋防止対策による耐震性の向上を図り、安全で安心な道路整備を推進します。

## 2. 事業の経緯

平成7年の兵庫県南部地震の被災を踏まえ、昭和55年より古い設計基準等で設計した橋梁の内、特に優先的に耐震補強を実施する必要がある橋梁を平成19年までの3箇年で概ね完成すべく整備を進めているところである。

## 3. 平成19年度事業の内容

陸上部の橋脚及び落橋防止装置についてはH18に完了。H19は水中部のP7～9の鋼板巻き立てによる橋脚補強とゲルバー部をPC連結ケーブルにより落橋防止対策を実施します。



# 一般国道116号 古町自転車歩行者道

にいがた にいがた  
新潟県新潟市

## 1. 事業の概要

一般国道一般国道116号は、柏崎市を起点とし、新潟市に至る延長約87kmの主要幹線道路です。

事業箇所は、新潟市の中心市街地に位置し、商業・業務施設、公共施設等が集積し、歩行者、自転車の交通量が非常に多い場所です。

また、新潟市の「あんしん歩行エリア」古町入舟地区に指定されています。

このため、誰もが利用しやすい歩行空間の形成を目的として、自歩道の段差・傾斜・勾配の改善、視覚障害者誘導用ブロックの設置を行い、安全で安心して通行できる歩行空間を整備する事業です。

## 2. 平成19年度当初予算の内容

自転車歩行者道の工事を推進し、平成19年度の完成を目指します。



整備イメージ



こうろはくちしゅんせつ  
**航路泊地浚渫の実施**  
にいがたこう にいがた  
**新潟港：新潟県新潟市**

### 1. 事業の概要

新潟西港は信濃川の河口港であるため、流下土砂による港内の埋没が生じており、大型船の出入港及び複合一貫輸送を支える長距離フェリーならびに離島の生活航路である国道 350 号佐渡航路の安定運航等を確保するため、水深を確保するための浚渫を実施しています。

### 2. 事業の経緯

新潟西港の航路泊地埋没浚渫は、昭和 2 年より実施しており、昭和 61 年度より年間約 87 万 $m^3$ を計画浚渫量として実施しています。

### 3. 平成 19 年度事業の内容

引き続き、航路泊地の浚渫\*を実施します。

※浚渫とは海や川の底の土砂を掘り、船が通る道(航路)を整えること。水深が浅いところでは、船が座礁する危険性があり大型船が通れなくなります。



新潟港(西港地区)航路泊地浚渫計画箇所

## 信濃川左岸緑地の整備促進

にいがた にいがた にいがた  
新潟港：新潟県新潟市

(補助事業)

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

新潟市歴史博物館（愛称：みなとぴあ）、萬代橋、やすらぎ提を遊歩道の回廊で結ぶ修景緑地を整備することで、港、水辺空間に親しめる憩いの場を提供します。

#### 2) 全体計画

緑地：2.1ha

### 2. 事業の経緯

平成元年度：事業着手

平成9年度：部分供用 0.68ha

平成14年度：部分供用 0.61ha

### 3. 平成19年度事業の内容

平成19年度は、新潟市歴史博物館近辺において、植栽、園路等の整備を促進します。



## 新潟港海岸（西海岸地区）侵食対策事業の整備推進

～地域住民を守り、憩いの場としての海岸を創出～

新潟港海岸（新潟県新潟市<sup>にいがた</sup>）

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

新潟港海岸（西海岸地区）は、著しい侵食傾向にある海岸であったことから侵食対策工事が行われてきました。しかし、日本海側特有の冬季風浪により施設前面の海底が侵食され崩壊の危険があったことから、恒久的な対策と併せて快適で潤いのある海岸環境の創出が可能となる「面的防護工法」により整備を行っています。以来、「国土保全」という観点から着々と整備が進んでいます。一方、市民からは過去に失われた白砂青松を蘇らせて、「憩いの場としての海岸」を創出することへの強い要望があることから、「ふるさと海岸整備事業」として快適な海岸空間の創出に向けて事業を進めています。

#### 2) 全体計画

国土交通省：離岸堤（潜堤）、突堤、護岸（養浜）：昭和61年度～平成28年度

### 2. 事業の経緯

昭和61年度に大規模な面的防護工法の先駆として直轄による「侵食対策事業」に着手。平成7年度には快適な海岸空間の創出に向けた「ふるさと海岸整備事業」に認定。

### 3. 平成19年度事業の内容

離岸堤（潜堤）、突堤、護岸（養浜）の整備推進を図ります。



- 広域的連携交流・活力ある地域づくり
- 安全・安心な地域づくり

# 多目的国際ターミナル(耐震強化岸壁)整備事業の促進

## 直江津港：新潟県上越市<sup>じょうえつ</sup>

(補助事業)

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

直江津港では、コンテナ貨物やリサイクル関連貨物の取扱量の増加と船舶の大型化に対応するため、既存岸壁の改良(増深)を行います。

また、新潟県南西部(上越地方)は大規模地震の切迫性が高い地域となっていること、平成16年10月に発生した新潟県中越地震により輸送路・防災拠点の早急な対策が迫られていることから、既存岸壁の改良に合わせ耐震強化岸壁の整備を行います。

#### 2) 全体計画

○岸壁(-10m)(改良)(耐震)	平成17年度～平成19年度
○泊地(-10m)	平成19年度
○泊地(-10m)(防波堤撤去)等	平成19年度～平成23年度

### 2. 事業の経緯

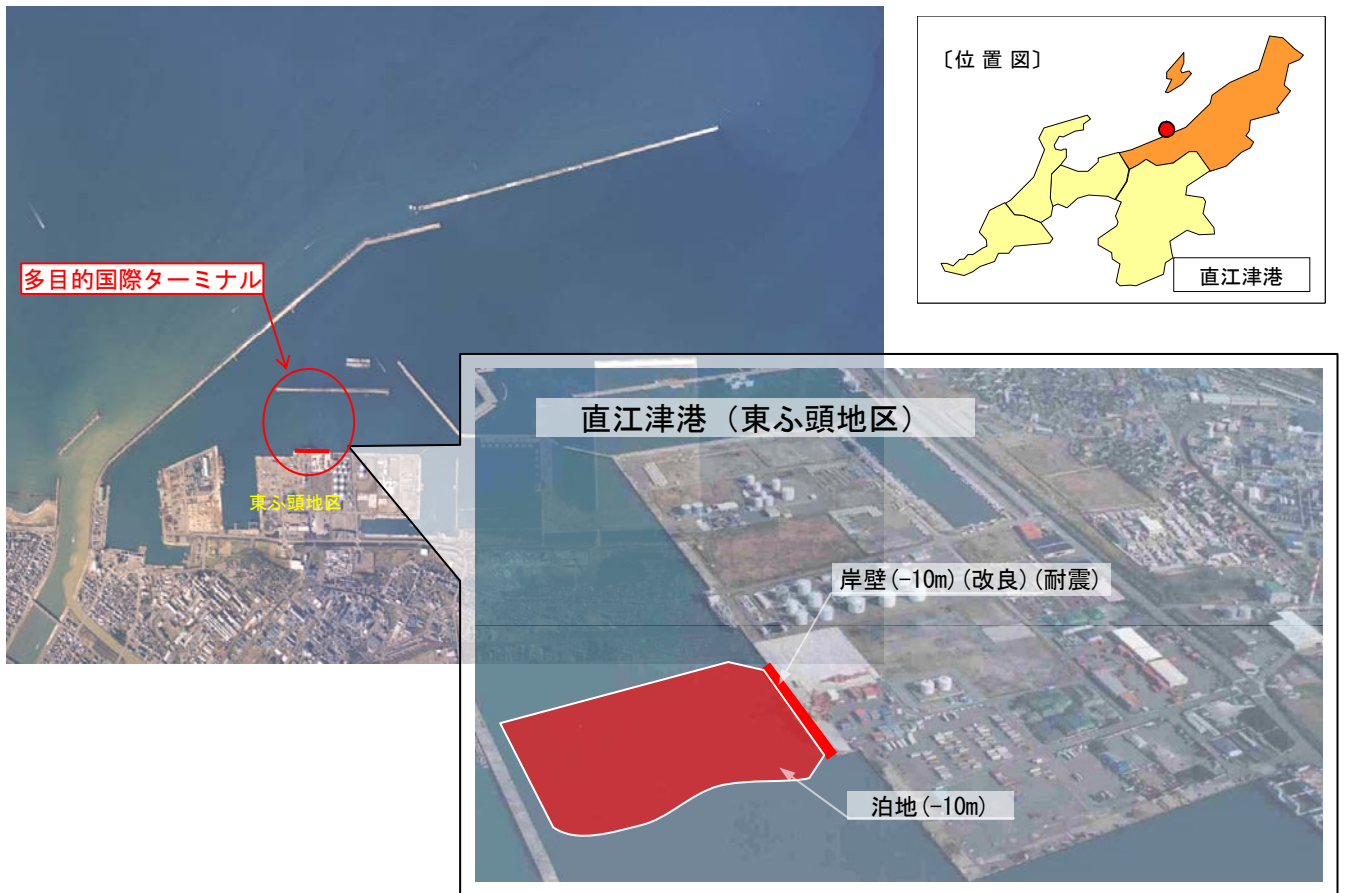
平成17年度：土質調査・設計

平成18年度：現地着手

平成19年度：岸壁供用予定

### 3. 平成19年度事業の内容

平成19年度は、岸壁改良及び前面泊地の浚渫等を実施し、事業を促進します。



直江津港(東ふ頭地区)の現況



## 静脈物流拠点港(リサイクルポート)の整備促進

ひめかわこう いといがわ  
姫川港：新潟県糸魚川市

(補助事業)

### 1. 事業の概要

姫川港は、平成15年4月に総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)の指定を受け、広域的なリサイクル施設の立地に対応した静脈物流ネットワークの拠点となる港湾の整備を進めています。周辺地域では豊富で良質な石灰石が産出されることから化学工業、セメント工業が発展しており、廃棄物をセメント焼成炉やバイオマス発電等に利用して、循環型社会構築の一翼を担っています。

姫川港の取扱貨物量は年々増加しており、その増加する貨物量やセメント船の大型化に対応するため、岸壁、航路、泊地等の整備を図ります。

### 2. 事業の経緯

平成10年度に事業に着手し、平成13年度に岸壁(-10m)を完成供用しました。引き続き、需要の増加に対応した港の拡張整備を行います。

### 3. 平成19年度事業の内容

引き続き、護岸(防波)の整備を行い港の拡張整備を促進します。



姫川港の現況

- 広域的連携交流・活力ある地域づくり
- 美しさと自然豊かな文化の香りがする地域づくり

# 「野生ゾーン」の一部開園

えちごきゅうりょう くにがた ながおか  
 国営越後丘陵公園 新潟県長岡市

## 1. 事業の概要

国営越後丘陵公園は、本州日本海側で初めての国営公園です。

雪国の特性に配慮し恵まれた自然環境や交通条件のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマに、自然環境を保全しつつ広域的レクリエーションや文化活動への対応を図るべく整備を進めています。

【位置、面積】 新潟県長岡市、約400ha

【全体構成】 「健康ゾーン」(約120ha)、「野生ゾーン」(約180ha)、「文化ゾーン」(約100ha)の3つのゾーン構成で整備

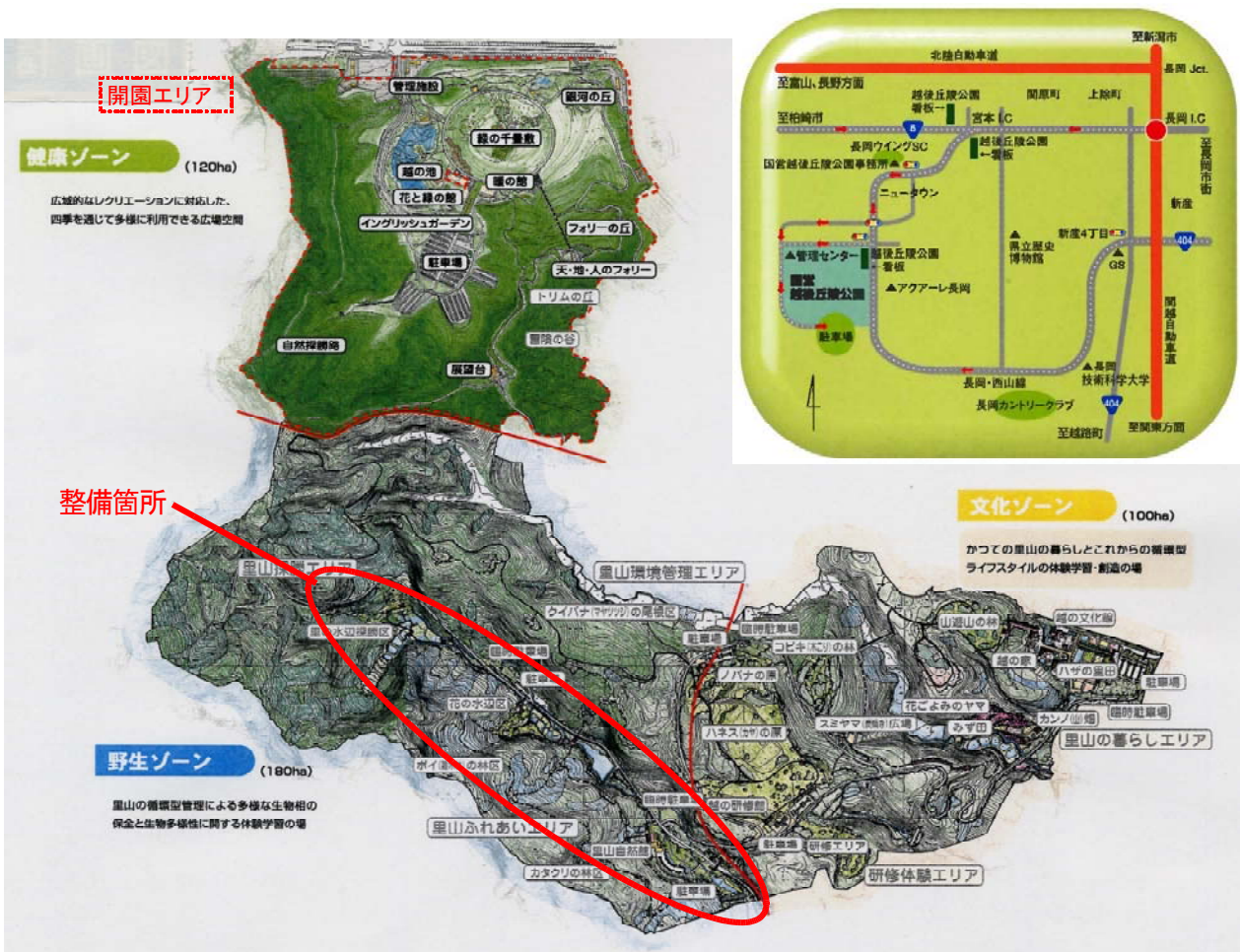
## 2. 事業の経緯

平成元年度に事業を着手し、平成10年7月の29ha開園以来、平成15年度までに「健康ゾーン」の119.6haを開園しています。入園者は、年々増加しており、平成19年2月末現在で、延べ来園者数が251万人が訪れています。

また、平成15年度からは、「野生ゾーン」の早期供用開始を目指し、管理用道路や環境整備に着手しています。

## 3. 平成19年度事業の内容

平成19年度は、「野生ゾーン」のうち「里山ふれあいエリア」において里山の自然を体験学習ができる古民家の整備、野鳥・昆虫類など静かに観察する「里山探勝エリア」の整備を推進し、秋には一部(約20ha)を開園する予定です。また、現在開園中の「健康ゾーン」については、より安全・快適に利用して頂くとともに利用促進を図るため、適切な維持管理を行うとともに、四季を通じてイベント等を開催していきます。



# 新潟駅付近連続立体交差事業の整備促進

～しんえつほんせん JR信越本線等連続立体交差事業～にいがた にいがた（新潟県新潟市）

（補助事業）

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

JR信越本線等連続立体交差事業（新潟駅付近）は、JR信越本線等の高架化により新潟駅付近の2箇所の踏切を除却し、新たな道路の整備を行い都市交通の円滑化と通行の安全を図るとともに、分断された市街地の一体化による新潟駅周辺地区の活性化を目的とする事業です。

### 2) 全体計画

事業主体：新潟県  
 事業内容：連続立体交差事業  
 全体計画：L = 2.5 km

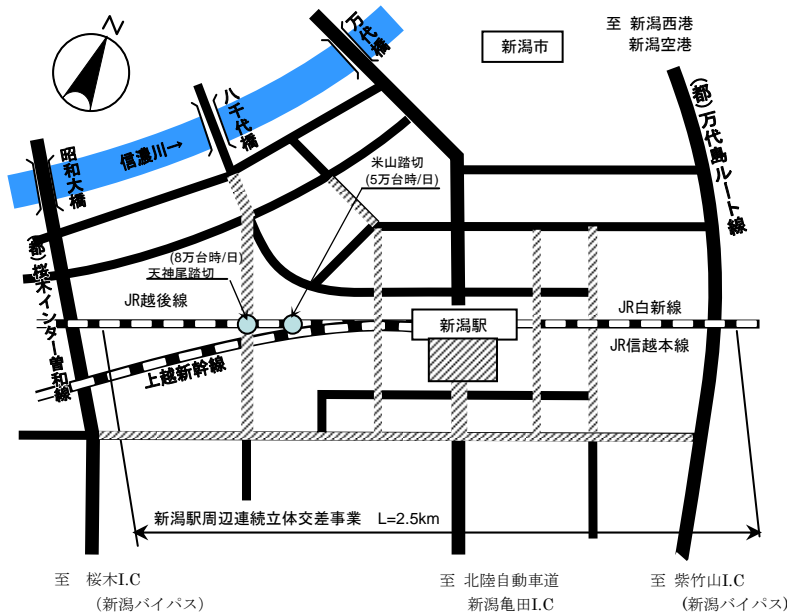


## 2. 事業の経緯

平成12年度に着工準備採択し事業に着手。  
 平成17年度に都市計画決定（H18.1.20）  
 平成18年度に事業認可（H18.7.31）

## 3. 平成19年度事業の内容

平成19年度は、詳細設計、仮線の用地買収や工事等を促進します。



# 上越地域の運動公園の整備促進

## 上越総合運動公園（新潟県上越市）

（補助事業）

### 1. 事業の概要

#### (1) 目的

上越総合運動公園は、上越地域における広域的スポーツ施設及び災害時の避難地として利用できる公園です。

平成21年新潟国体のソフトテニス会場として使用される予定であり、現在テニスコート整備を進めています。

また一般国道18号と主要地方道上越安塚柏崎線に隣接し、北陸自動車道上越I.Cにも近くアクセス面が優れており、災害時の広域的な避難地として活動可能な整備を進めます。

#### (2) 全体計画

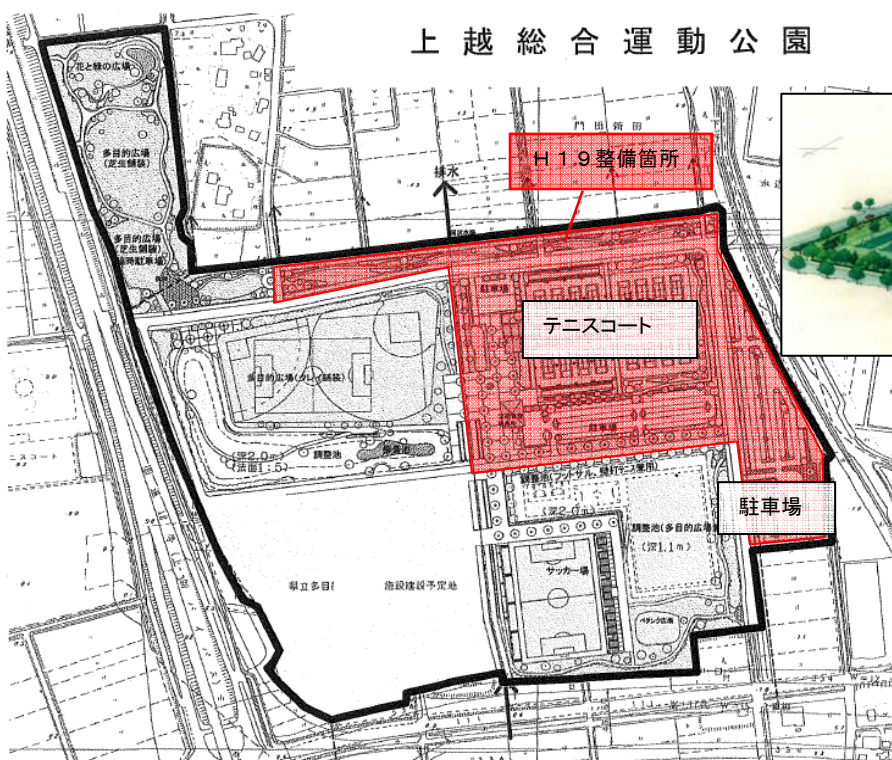
- 1) 事業主体：上越市
- 2) 位置：新潟県上越市
- 3) 面積：24.3ha
- 4) 事業期間：平成17年度～平成23年度
- 5) 主な施設：「テニスコート」「駐車場」

### 2. 事業の経緯

平成17年度に事業採択され同年度に着手着手しています。

### 3. 平成19年度事業の内容

平成19年度はテニスコート、園路舗装、給水・電気・照明等設備の整備を促進します。



# 新潟県中越地域で下水汚泥処理を共同で建設 ～中越地域流域下水汚泥処理事業を促進～

にいがた ながおか  
(新潟県長岡市)

補助事業

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

近年の下水道整備の進捗に伴い、増加する下水汚泥の安定した処理処分を図るため、焼却等による減量化や建設資材化等による有効利用が求められています。

新潟県中越地区において流域下水汚泥処理事業を平成16年度より実施しており、セメント原料としてリサイクルを行います。

### 2) 事業計画

- ・ 事業期間 H16～H20
- ・ 参加市町村 長岡市、小千谷市、旧越路町（現長岡市）、旧三島町（現長岡市）  
旧与板町（現長岡市）、旧和島村（現長岡市）、川口町、三条市、加茂市、
- ・ 処理方式 乾燥
- ・ 全体計画 乾燥炉（70t／日）×1基

## 3. 事業の経緯

平成16年度：用地買収着手

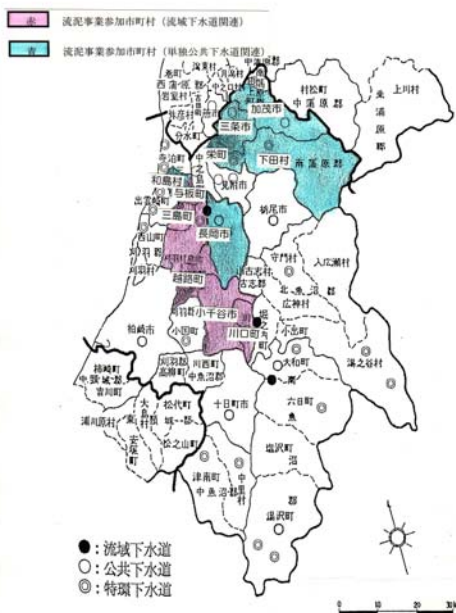
平成17年度：用地買収完了

平成18年度：施設関連整備に着手

## 4. 平成19年度事業の内容

汚泥受入・貯留棟工事、乾燥炉工事を促進します。

流域下水汚泥処理事業参加市町村位置図



### 中越地域流域下水汚泥処理施設

位置図  
S=1/5000

